

## 武雄市総合計画審議会（第2回）議事録

日時 平成18年11月29日(水) 午後2時開会 午後4時00分終了

場所 武雄市文化会館2階 大集会室A

### 議題

#### 1. 武雄市の財政状況

合併初年度である「平成18年度の決算見込み」と新市建設計画策定時における「平成27年度までの財政見通し」を資料として武雄市財政の現状と課題を確認する」

#### 2. 基本構想（案）

「新市建設計画を土台に基本構想（案）を審議する」

#### 3. 人口推計について

「平成12年の国勢調査人口をベースにコーホート法でおこなった人口推計を使用し、総合計画目標年次である平成28年度の武雄市の人口を推計する」

#### 4. わかりやすい総合計画を目指して

「総合計画をイラストで表現するためにイラストレーターを募集する」

### 議事録（審議事項及び発言経過）

#### [1] 武雄市の財政状況

審議委員 異議なし。

#### [2] 基本構想

審議委員：財政難のなかで基本構想にあるまちづくりの方向を目指していくということか？

事務局：そのとおりです。

審議委員：基本構想の表現はあまりにも抽象的。ユニバーサルデザインの取り組み（条例づくりなどルール化など）は具体的にどのように考えているのか

事務局：審議委員のみなさんの意見が一致すれば「ユニバーサルデザインの理念」を基本構想に挿入することは可能。

審議委員：「ユニバーサルデザインの理念」を用いることは市長も提唱されているので基本構想に表現した方がよいのでは。

審議委員：「空間」という表現はわかりにくい。

審議委員：快適・ゆとり空間のまちづくりの中の記述に関して

「少子化により農村部では・・・課題となりつつあります。」とあるが、少子化は農村部だけの問題ではないのでは。

また、「各種の支援」、「あらゆる」など抽象的な表現と具体的な表現と入れ混じっていてわかりにくい点がある。

事務局：「新市総合計画は、新市計画を土台にする」（新市建設計画 P3）とあるので新市建設計画を基本に「基本構想」を提案している。

ただし、表現の仕方は変更可能と考えている。

審議委員：言葉の使い方、表現について修整が必要な箇所は改めた方がよい。

審議委員：公営住宅の整備、バス路線の確保、農村機能の維持、地産地消については、どのような考え方を持っているのか。

事務局：それぞれ問題点を含んでいるとは、認識しているが基本的に必要だと考え「まちづくりの方向」には掲げている。具体的には、基本計画の検討の中で審議していただきたい。

審議委員：施策の数値目標は必要と思うが。

事務局：数値目標は設定するようにしたい。具体的には基本計画で施策を審議していただく際に提案できるようにしたい。

審議委員：「安心・安全なまちづくり」に防犯に関する記述をいれてほしい

審議委員：「商店街」だけの支援ではなく、周辺部の個店の振興も考慮すべきでは。

**【結論】12月一杯ぐらいに文言等の修整すべき事項があれば事務局へ提出し、それを基に次回まで修整案を作る。**

**基本計画レベルの議論もレベルの議論もしないと、基本構想の内容が充分であるかが整理できない面も考えられるので、それも踏まえて検討する。**

[3]推計人口 平成28年度 52,300人

審議委員 異議なし

【提案どおり確認】

[4]イラストレーター募集

審議委員 異議なし

【提案どおり確認】

[5]次回議題 1月末（予定）

- ・ 基本構想修正（案）報告
- ・ 基本計画（案）検討